



12月議会特集
NO. 2331
2023. 1. 22

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

無料生活相談所

菅井 巖
中 榎 9 6
33-0534

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993

加藤 鉦一
宝徳仲田56
64-3941



JCP鶴岡地区HP

上郷・西目で大規模土砂崩れ

共産党市議団が調査高橋千鶴子衆院議員も現地入り



12月31日早朝の災害現場(菅井市議撮影)

12月31日未明に発生した西目地内の大規模な土砂崩れで、犠牲となつた2名の方、被害に遭われた方々、避難なされた方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

31日、現場に急行

日本共産党市議団は、31日早朝に菅井巖団長が現場に急行し、その後共産党上郷支部の佐藤安太郎支部長と、坂本昌栄議員が現地で合流し、災害現場

を確認しました。佐藤支部長宅を拠点に、加藤鉦一議員も合流し、避難場所となつた金山公民館を慰問し、避難者の声を直接伺いました。

長谷川剛議員は市役所で市災害対策会議を傍聴し、その後災害現場へ足を運びました。関根県議は午後には坂本議員と災害現場を確認し、金山公民館を訪れ避難者を慰問しました。

長谷川、坂本両議員は、午後5時から第3回市災害対策会議を傍聴し、市長と危機管理監に直接、「正月3日、食事提供を朝食だけでなく3食提供して

ほしい」と伝えました。

共産党鶴岡地区委員会、3日に地区党対策本部を立ち上げ、本部長に関根県議、副本部長に五十嵐地区委員長と菅井団長、事務局長に坂本議員、部員に佐藤支部長と加藤・長谷川議員等を選出し、今後の安全確認と災害発生の原因調査、避難者への支援、災害補償の確認等を行うことを決めました。

医療生協と坂本議員が避難者慰問

この間、避難者の声を直接聞き、対応を行い、6日には医療生協やまがた黒子専務と、

同上郷支部の佐藤支部長、坂本議員が避難者の慰問を行いました。避難者からは、災害前から少しの亀裂があったことや、災害時は午前1時半ごろの突然の出来事に困惑したと、今後のことについての不安など、話を聞きました。

高橋衆院議員 災害救助法適用について助言

7日午後から、高橋千鶴子衆議院議員が現地入りしました。

党市議団と共に被災現場で、宮崎哲危機管理監と消防署員から、災害の経緯や今後について説明を受けました。

その後市役所で阿部真一副市長を慰問し、今後の災害対応について意見交換を行いました。(2面につづく)



(写真) 市の担当者から説明を受ける(左2人目から)高橋衆院議員、加藤、菅井、長谷川、坂本の各議員



(写真) 昼夜を分かつため捜索活動に敬意を表明した高橋議員(右端)と、対応した阿部副市長(手前左)

(1面のつづき)

副市長から災害救助法の適用範囲について質問が出され、高橋千鶴子議員はこの間、全国の災害現場を訪れ、改正してきた経緯があり、特別基準をつくらせて認めさせてきたと述べ、市として必要な事を県と国に伝えて、対応してもらおうように助言しました。

菅井巖議員は、倒壊

災害の経過

した建物の中に、買ったばかりの高額な農業機械のブームスプレーヤがあり、農家が困っている声を伝えるなど、情報提供を行い、市議会も避難者の安全な帰還に向けた対策や、残骸の処理、他の土砂災害警戒区域の再点検など、意見交換を行いました。

今回の大規模な土砂崩れは、12月31日0時57分の通報で分かり、鶴岡市西目字斎藤地内で、幅約100㍍・高さ20〜30㍍の範囲で発生し、17棟の建物が倒壊。住家2棟に2名ずつ、計4名の要救助者が発生したものです。31日3時30分頃に2名が救出されましたが、残り2名は1月2日7時48分と10時50分

に、死亡で発見されました。

コロナ・物価高騰対策など重要7項目

共産党市議団が市に2023年度予算要望

日本共産党市議団(菅井巖団長)は12月26日、党鶴岡地区委員会(五十嵐貞子委員長)と共に、鶴岡市への2023年度予算編成にあたっての要望書を提

市の避難指示は8世帯22名に発令され、10日現在も6世帯18名がホテルや親戚知人、施設に避難しています。現場は山が掘削され土砂が使われた

今回崩壊した斜面は、2009年に土砂災害の特別警戒区域に指定されています。現場の土地は、1982(昭和57)年に山林から宅地に用途変更されています。

1967(昭和42)年に、死亡で発見されました。1967(昭和42)年

出しました。重要要望事項として7項目をあげました。

市側からは皆川治市長、阿部真一副市長、佐藤光治総務部長らが対応しました。

要望書は、コロナ感染症拡大や物価高騰に

(2面のつづき)

援の拡充、

② 新型コロナウイルス感染症対策として医療・介護・福祉施設への対策・支援、

③ 学校給食無償化の来年度以降の継続、

④ 子ども医療費無料化の18歳年度末までの拡大、

⑤ 国民健康保険税の

負担軽減、

⑥ 小中一貫教育の具
体化にあたっては、全
国事例の十分な検討・
検証と、安易な推進を
行わないこと、

⑦ ラムサール条約登
録地付近での大規模
風力発電事業の中止で
す。

各分野の要望とし
て、市政全般に渡って



(写真) 2023年度予算要望書を提出。左から坂本昌栄議員、関徹県議、菅井巖団長、五十嵐貞子鶴岡地区委員長、皆川治市長、加藤鉦一議員、長谷川剛議員 (12/26)

172の要望項目をあ
げ、皆川市長に手渡し
ました。

市長「ラムサール湿
地の重要性認識」

懇談では、五十嵐貞
子地区委員長から、コ
ロナ感染拡大での医療
・介護施設の支援を重
ねて要望、関徹県議か
らは国、県の施策との

連携や、支援拡充など
の言及がありました。

加藤鉦一市議は旧東
田川郡役所と郡会議事
堂の国指定史跡答申の
意義を述べ、坂本昌栄
市議は子育て支援施策
の一層の拡充、長谷川
剛市議は公共施設男子
トイレへのサニタリー
ボックス配慮を指摘し
ました。

菅井巖市議は、ラム

サール条約湿地と自然
環境への配慮から、風
力発電事業の問題を指
摘しました。

皆川市長は、「風力
発電事業計画は、指摘
を受け止め、今後の調
査等を見ていく。

ラムサール湿地の重
要性は認識しており、
しっかり維持発展させ
ていく」と述べました。

広報発行活動は政治倫理基準に該当しない 政倫審結果措置 共産党市議団が見解と対応

発行活動は、政治倫理
基準に該当しない。

議長は法的な
強制力はありません
が、その不当性を明確
にしました。

内容が、「弁明書」(11
/29)が考慮されなか
ったことは遺憾であ
り、政治倫理条例は、
議員の地位利用や権力
の濫用に対するもの
で、「新つるおか」の
新政クラブガソリン
代の報復で狙い撃ち
新政クラブの政務活
動費のガソリン代は、
新政クラブの政務活
動費のガソリン代は、

日本共産党鶴岡市議
団は12月14日、「政倫
審査結果措置」に対
し、見解と対応につい
て、菅原一浩議長に提



出しました。

議員の特権による公費
の私的流用で、問題の
個人責任を回避するた
め、政務活動費の手引
きに責任を転嫁し、手
引き見直しを図る中
で、共産党市議団を狙
い撃ちした。

新政クラブの議員に
対する審査は、委員全
員の賛成で可決された
が、今回は委員の可否
同数、委員長採決で、
審査経過が全く異な
る。

しかし議長の措置は
同じ「公開の議場にお
ける陳謝を勧告する」
であった。

公費の私的流用で犯
罪にも相当する問題
と、会計処理上の事務
的な問題を、同じ措置
で判断することは不当
である。

よって、「公開の議
場における陳謝」に従
うことはできない。

日本共産党市議団 12月議会の議会質問

【総括質問】



長谷川剛議員

はなくてもよいのか。
②新学校給食センターは自校方式を選択すべき。



坂本昌栄議員

①第2次男女共同参画計画及び推進懇談会の取り組みと実績は。
②市立小中学校への生理用品の配置を進めるべき。
③子育て支援に、学校給食の無償化継続を。



加藤 弘一議員

①小中一貫教育は、小
学卒業式と中学入学式



菅井 巖議員

①土地、建物の相続問題で、2024年4月1日から相続登記の義務化となり、市民周知

は。
②介護予防・認知症予防対策として、補聴器購入助成を。
③旧大山尋常高等小学校「新民館」の価値と評価は。

「18歳までの医療費無料化」意見書は、全会一致で可決

鶴岡市議会12月定例会に提出された議員発議の意見書は、可決1件、否決2件でした。

「18歳までの医療費無料化を求める意見書」(提出者：坂本昌栄議員他5議員)が全会一致で可決。

意見書は、制度の早期創設と、自治体への減額措置(ペナルティ)の完全廃止を求めています。

「マイナンバーカード取得義務化につながる『健康保険証の原則廃止』と『マイナンバ

ーカードの保険証利用等に係るシステム導入義務化」の撤回を求める意見書」(提出者：長谷川剛議員他2議員)は否決で、賛成討論は加藤弘一議員(共産)、反対討論は本間信一議員(新政)でした。

意見書は、カードの取得は任意であり、取得強制につながる「健康保険証の原則廃止」の撤回を求めています。

「介護保険制度の改善を求める意見書案」(提出者：菅井巖議員他3議員)は否決で、賛成討論は坂本昌栄議員(共産)と草島進一議員(市民の声)、反対討論は阿部寛議員(新政)でした。

意見書は、利用料の引き上げや要介護1、2の保険ははずし、ケアプランの有料化、福祉用具の貸与から購入へ

の変更などを行わないことを求めています。

2022年12月議会 賛否が分かれた議案 (○賛成 ●反対)

	声	SDG		フォ		共産党		公明党		無所属		新政クラブ																			
		遠藤初子	草島進一	田中宏	南波純	石井清則	工藤博	長谷川剛	坂本昌栄	菅井巖	加藤弘一	秋葉雄	富樫正毅	黒井浩之	中沢深雪	佐藤久樹	小野由夫	佐藤博幸	佐藤麻里	阿部寛	本間正芳	石塚慶	佐藤昌哉	五十嵐一彦	尾形昌彦	本間新兵衛	洪谷耕一	本間信一	菅原一浩		
「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入義務化」の撤回を求める意見書	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
介護保険制度の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○